

エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース

追加型投信／海外／債券

交付運用報告書

第75期(決算日2017年3月21日)

第76期(決算日2017年4月20日)

第77期(決算日2017年5月22日)

第78期(決算日2017年6月20日)

第79期(決算日2017年7月20日)

第80期(決算日2017年8月21日)

作成対象期間(2017年2月21日～2017年8月21日)

第80期末(2017年8月21日)

基準価額	3,363円
純資産総額	22,465百万円
第75期～第80期	
騰落率	1.7%
分配金(税込み)合計	150円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>

右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルリアルコース」は、2017年8月21日に第80期の決算を行ないました。

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっておりまして、

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号

<http://www.nikkoam.com/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

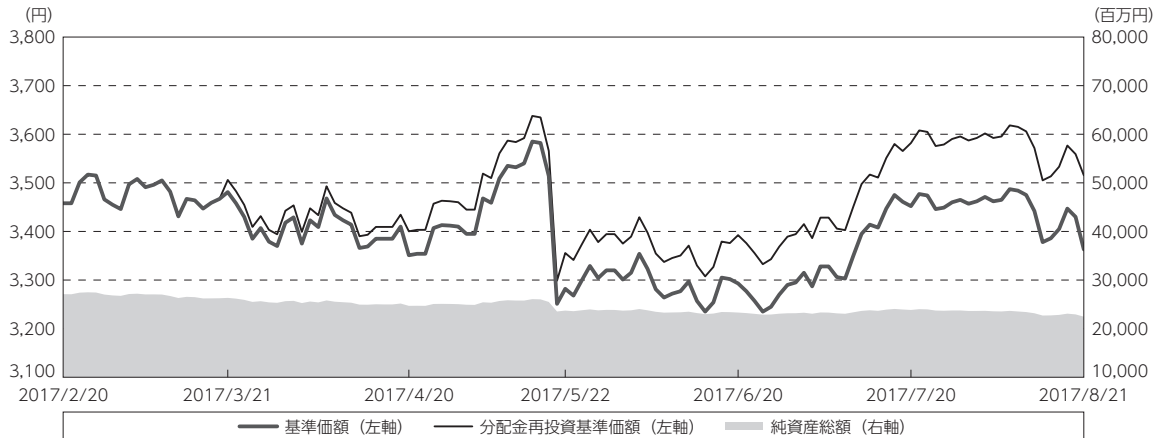
コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

運用経過

作成期間中の基準価額等の推移

(2017年2月21日～2017年8月21日)



第75期首：3,458円

第80期末：3,363円 (既払分配金(税込み)：150円)

騰落率：1.7% (分配金再投資ベース)

(注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注) 分配金再投資基準価額は、作成期首(2017年2月20日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

(注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、エマージング諸国(新興国)の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行なっております。また、原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・保有債券の利息収入を得たこと。
- ・新興国ハイ・イールド社債を中心に米国国債とのスプレッド(利回り格差)が縮小したこと。
- ・米国国債の長期金利が低下(債券価格は上昇)したこと。

<値下がり要因>

- ・ブラジルリアルが対円で下落したこと。

1万口当たりの費用明細

(2017年2月21日～2017年8月21日)

項 目	第75期～第80期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	19 円	0.555 %	(a) 信託報酬＝作成期間の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(5)	(0.162)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(13)	(0.377)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(1)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	0	0.005	(b) その他費用＝作成期間のその他費用÷作成期間の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用)	(0)	(0.003)	印刷費用は、法定開示資料の印刷に係る費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	19	0.560	
作成期間の平均基準価額は、3,394円です。			

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

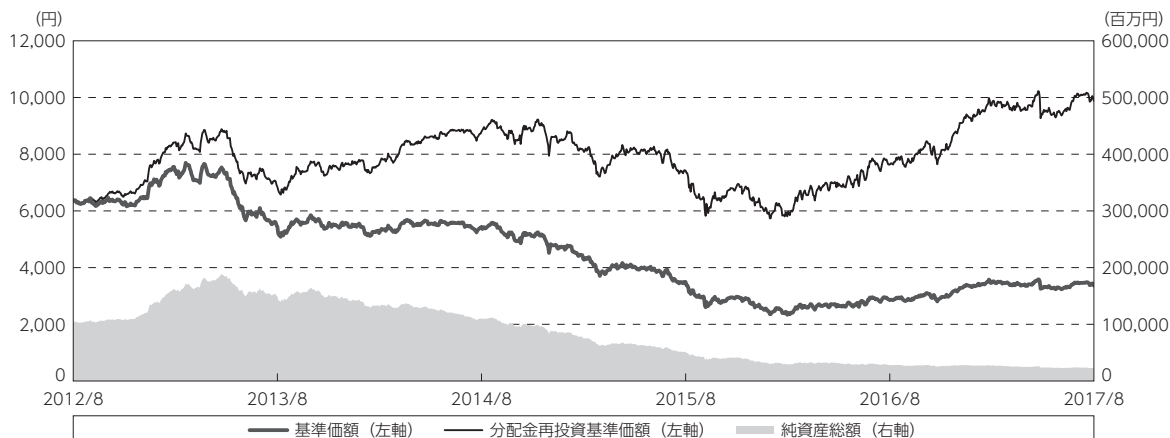
(注) 当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当たりの費用明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2012年8月20日～2017年8月21日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2012年8月20日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2012年8月20日 決算日	2013年8月20日 決算日	2014年8月20日 決算日	2015年8月20日 決算日	2016年8月22日 決算日	2017年8月21日 決算日
基準価額 (円)	6,370	5,208	5,361	3,376	2,851	3,363
期間分配金合計(税込み) (円)	—	1,680	1,350	1,200	560	300
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	5.7	31.4	△ 17.0	4.0	29.4
純資産総額 (百万円)	104,052	142,733	109,026	49,557	28,076	22,465

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

投資環境

(2017年2月21日～2017年8月21日)

(債券市況)

期間中、新興国のハイ・イールド社債市場は上昇しました。

米国では、米国連邦準備制度理事会（FRB）が2017年3月および6月に利上げを実施しましたが、長期金利が安定していたために、そのことがグローバル市場に与えた影響は限定的でした。一方、欧州ではフランス大統領選挙が無事に終わったことで、先進国における政治リスクへの投資家の懸念が和らぎました。グローバルに安定した経済成長やインフレが落ち着いていること、主要中央銀行が引き続き金融緩和策を実施していることで、金利動向が比較的落ち着いているという市場環境のなか、利回りへの需要という投資テーマが続き、新興国市場はそれによる恩恵を受けました。期間末にかけては、北朝鮮での地政学的リスクの高まりが投資家心理の重しとなり、新興国市場も弱含む局面が見られましたが、通期で見ると安定したリターンを獲得しました。

新興国社債市場では投資家のリスク選好の姿勢が続いたことから、ハイ・イールド社債が投資適格社債を上回るパフォーマンスとなりました。企業業績は良好な状況が続き、高利回り資産への需要が続いたことを受け、アルゼンチン、カザフスタン、ウクライナ、ジャマイカなどの国の銘柄が相対的に堅調となりました。また、期間中にはブラジルの汚職問題に関連する話題が再び浮上しましたが、市場全体に与えた影響は限定的でした。

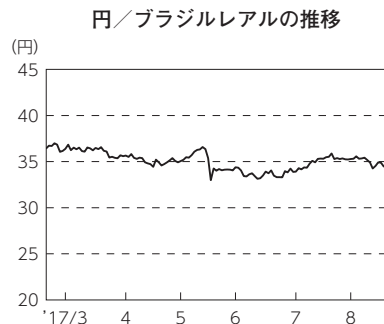
(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの-0.05%近辺から、日銀によるマイナス金利政策の下でコール市場でもマイナス圏での取引が続き、-0.05%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの-0.27%近辺から、日銀による国債買入れの継続や追加の金融緩和観測などを受けてマイナス圏での推移が続き、-0.14%近辺で期間末を迎えました。

(為替市況)

期間中におけるブラジルリアル（対円）は、右記の推移となりました。



当ファンドのポートフォリオ

(2017年2月21日～2017年8月21日)

(当ファンド)

当ファンドでは、収益性を追求するため、「EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(EMサブI Gハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

当ファンドは、高利回り国の金融セクターへの投資比率を特に高める一方で、エネルギー価格の下落による影響を考え、エネルギーセクターの投資比率を低くしました。国別ではトルコや中国の投資比率を高め、ブラジルやロシアの投資比率を低くしました。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国庫短期証券の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

(2017年2月21日～2017年8月21日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定していません。

分配金

(2017年2月21日～2017年8月21日)

分配金は、運用実績や市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期
	2017年2月21日～ 2017年3月21日	2017年3月22日～ 2017年4月20日	2017年4月21日～ 2017年5月22日	2017年5月23日～ 2017年6月20日	2017年6月21日～ 2017年7月20日	2017年7月21日～ 2017年8月21日
当期分配金	25	25	25	25	25	25
(対基準価額比率)	0.713%	0.741%	0.756%	0.753%	0.719%	0.738%
当期の収益	13	10	10	12	13	10
当期の収益以外	11	14	14	12	11	14
翌期繰越分配対象額	4,058	4,044	4,030	4,018	4,007	3,992

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

(注) 投資信託の計上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはございません。

今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、原則として「EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(EMサブIGハイインカム・コープボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス)

エマーシング市場を取り巻く環境は全般的に落ち着いているとみられます。中国の経済指標も引き続き安定的な成長を示しており、商品相場も回復基調を維持しています。主要中央銀行の動向に目を向けると、落ち着いたペースでの金融引き締めは足元の投資環境を大きく変化させるものではないとみています。

主要株式市場の価格変動が低い投資環境が継続するなか、新興国資産にとって全般的に良好な投資環境が続くとみています。唯一価格変動が高まる可能性があるのは地政学的リスクが燦る地域で、引き続き北朝鮮情勢の進展を注意深く見守っていきます。軍事的衝突に発展する可能性は低いとみているものの、最近の激しい言葉の応酬の明確な方向性を見極めることは困難であると考えます。ポートフォリオ全体のリスクをやや削減し、必要に応じてヘッジを通して慎重なポジションを取ることが適切であると判断しています。

個別銘柄レベルで価格変動およびリターン格差の拡大は予想されるものの、これは投資機会として機動的に捉えていき、全般的に良好な投資環境によるキャリートレードからの恩恵を受けられるポジションを維持していく方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

お知らせ

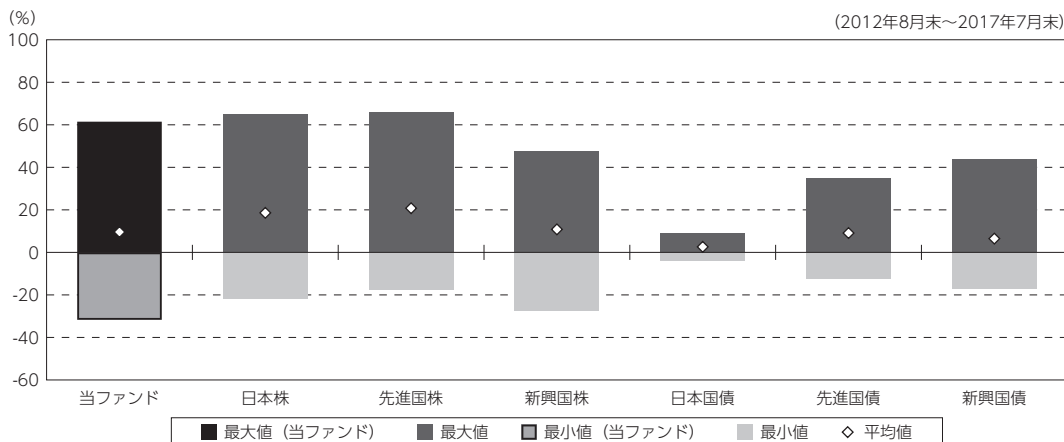
2017年2月21日から2017年8月21日までの期間に実施いたしました約款変更はございません。

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券
信託期間	2010年12月9日から2020年8月20日までです。
運用方針	主として、新興国の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要投資対象	「EMサブI Gハイインカム・コーポンド・サブトラスト J P Y ・ B R L クラス」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
運用方法	主として、エマージング諸国（新興国）の高利回り社債を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、安定した収益の確保と信託財産の成長をめざして運用を行ないます。投資対象とする投資信託証券は、30%を上限に新興国の投資適格社債にも投資します。原則として、米ドル売り、ブラジルリアル買いの為替取引を行ないます。
分配方針	毎決算時、原則として安定した分配を継続的に行なうことをめざします。

(参考情報)

○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位:%)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	61.5	65.0	65.7	47.4	9.3	34.9	43.7
最小値	△ 31.7	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	9.6	18.6	20.8	10.8	2.6	9.1	6.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2012年8月から2017年7月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●シティ世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、Citigroup Index LLC が開発した、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、Citigroup Index LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

当ファンドのデータ

組入資産の内容

(2017年8月21日現在)

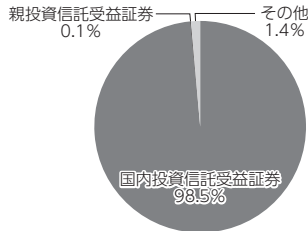
○組入上位ファンド

銘柄名	第80期末
	%
EMサブIGハイインカム・コーポボンド・サブトラスト JPY・BRLクラス	98.5
マネー・アカウント・マザーファンド	0.1
組入銘柄数	2銘柄

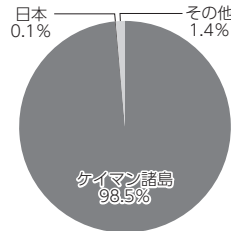
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

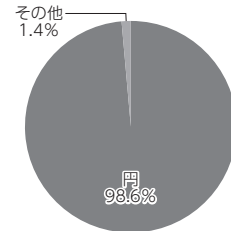
○資産別配分



○国別配分



○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) 国内投資信託受益証券には外国籍(邦貨建)の受益証券を含めております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

純資産等

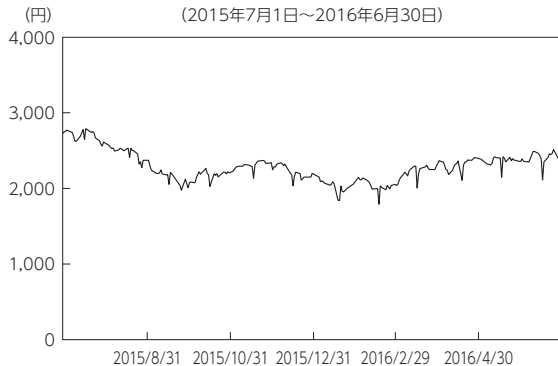
項目	第75期末	第76期末	第77期末	第78期末	第79期末	第80期末
	2017年3月21日	2017年4月20日	2017年5月22日	2017年6月20日	2017年7月20日	2017年8月21日
純資産総額	26,331,643,401円	24,691,921,558円	23,716,387,087円	23,312,573,984円	23,844,552,190円	22,465,819,150円
受益権総口数	75,642,680,826口	73,676,020,621口	72,262,898,224口	70,787,084,297口	69,068,055,803口	66,799,359,676口
1万口当たり基準価額	3,481円	3,351円	3,282円	3,293円	3,452円	3,363円

(注) 当作成期間(第75期~第80期)中における追加設定元本額は819,650,718円、同解約元本額は12,377,436,279円です。

組入上位ファンドの概要

EMサブIGハイインカム・コーポンド・サブトラスト JPY・BRLクラス

【基準価額の推移】



【1万口当たりの費用明細】

(2015年7月1日～2016年6月30日)
当該期間の1万口当たりの費用明細については開示されていないため、掲載していません。

【組入上位10銘柄】

(2016年6月30日現在)

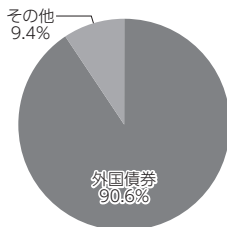
	銘柄名	業種／種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	YPF SA 8.50%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	2.3
2	VTR Finance BV 6.88%	外国債券	アメリカドル	オランダ	2.3
3	Cosan Overseas Ltd 8.25%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	2.0
4	DP World Ltd 6.85%	外国債券	アメリカドル	アラブ首長国連邦	1.8
5	YPF SA 8.75%	外国債券	アメリカドル	アルゼンチン	1.8
6	Sable International Finance Ltd 6.88%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	1.7
7	Comcel Trust via Comunicaciones Celulares SA 6.88%	外国債券	アメリカドル	ケイマン諸島	1.7
8	Studio City Finance Ltd 8.50%	外国債券	アメリカドル	英領バージン諸島	1.4
9	Altice Financing SA 6.50%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	1.4
10	Cosan Luxembourg SA 7.00%	外国債券	アメリカドル	ルクセンブルク	1.3
	組入銘柄数		127銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

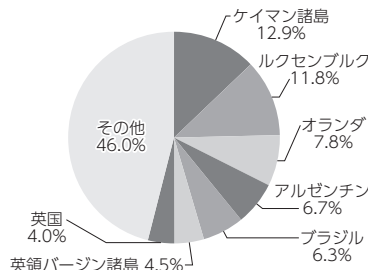
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

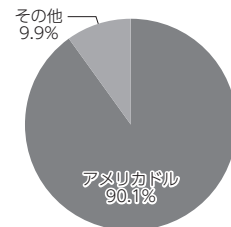
【資産別配分】



【国別配分】



【通貨別配分】



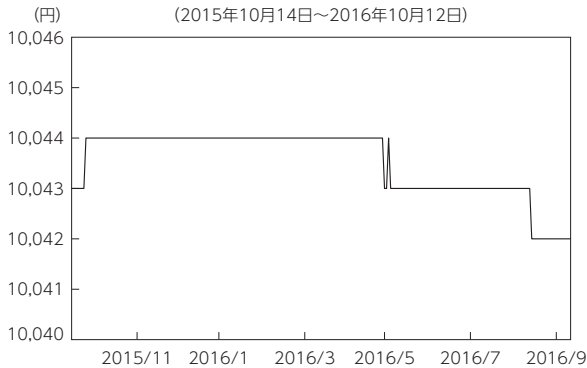
(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

マネー・アカウント・マザーファンド

【基準価額の推移】

(2015年10月14日～2016年10月12日)



【1万円当たりの費用明細】

(2015年10月14日～2016年10月12日)

項 目	当 期	
	金 額	比 率
	円	%
(a) そ の 他 費 用 (そ の 他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合 計	0	0.000

期中の平均基準価額は、10,043円です。

- (注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。
 (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
 (注) 各比率は1万円当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

組入資産の内容

(2016年10月12日現在)

2016年10月12日現在、有価証券等の組入れはございません。